

# 京の あしえんだ

のアジェンダ21フォーラム ニュースレター

季刊誌

2016~2017

冬

第27号



- \* 京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト ..... 2・3  
10周年インタビュー 活動と思い 株式会社立花エレテック/公栄運輸株式会社 活動報告
- \* KESエコロジカルネットワーク ..... 4
- \* 京都SDGsマップ作成プロジェクト ..... 5
- \* 京都環境フェスティバル2016 ..... 6



「アジェンダ21」とは「21世紀への検討課題」という意味。  
「京のアジェンダ21フォーラム」では、市民・事業者・行政が力を合わせて  
環境と共生できるまちの姿を描いていきます。

# KES

## エコロジカル ネットワーク



2014年に策定された「京都市生物多様性プラン」に基づき、京のアジェンダ21フォーラムが創設し、京都市内でも多くの企業や学校等が導入している環境マネジメントシステム「KES」の活動の中に生物多様性を取り入れて頂き、それをネットワーク化を進めようとしています。

今年度は180事業所が参加し、京都の文化にゆかりのある希少種「和の花」の育成や敷地内緑化、生物多様性保全活動への参加などに取り組んでいます。



### 京都駅ビル「緑水歩廊」にキクタニギクを展示しました

緑水歩廊は、京都駅ビル内に設置された自然との触れ合いの場を提供する緑化展示です。2013年から毎年キクタニギクの展示が行われており、今年も11月18日から30日まで展示しました。

キクタニギクは京都府レッドデータブックで絶滅危惧種とされているキク科の多年草で、秋になると小さな黄色の花を多数つけます。かつては香料や傷薬として使用したり、葉や花を食用としていたといわれています。別名「アワコガネギク」「アブラギク」とも呼ばれています。京都東山の地名「菊溪」にちなむ名前をもつ希少種ですが、現在名前の由来となった菊溪での自生は確認されていません。府内でも環境の変化や鹿による食害で希少になっています。

今回の緑水歩廊での展示は、KESエコロジカルネットワークの取り組みとしてキクタニギクを育成している40社の内、展示希望のあった6社から鉢をお預かりし展示させて頂きました。

今後はキクタニギクの再生を目指し、KESエコロジカルネットワークの活動で育てたキクタニギクの活用も計画しています。



京都駅ビル「緑水歩廊」



パネルと共に展示しました



キクタニギクの花

### 京都学園大学連続セミナー「和の花と生き物文化の再生」で報告

12月13日、京都学園大学 京町家「新柳居」連続セミナー和の花と生き物文化の再生の第4回「企業と生物多様性：『和の花』保全再生の社会的展開」として、KES環境機の津村さんが話題提供され、KESエコロジカルネットワーク事務局の京のアジェンダ21フォーラム井上が補足コメントをさせていただきました。



会場との質疑の中でも、遺伝子レベルでの保全策、他の希少種やKES登録企業以外への広がり、この取組の意義をきちんと伝える仕組みなど、課題もいくつか見えてきましたので、今後に向けて思いを新たにすることができました。

連続セミナーの第5回は1月17日（火）「フタバアオイを考えるーコモンズ論の視点から」、第6回は2月7日（火）「チマキザサ保全活動の現状と将来的な展開の検討」の予定です。ぜひご参加ください。

<http://www.kyotogakuen.ac.jp/lecture/20162017-bioContinuousSeminars/>

Facebook <https://www.facebook.com/kesecologicalnetwork/>